

遠野駅舎の未来を考える市民ワークショップについて

1 ワークショップ実施の経緯

JR遠野駅舎の活用案の検討に際して、遠野駅舎の未来を考える市民ワークショップが平成28年10月から12月にかけて全5回で開催されました。

駅舎の活用アイデアとともにまちづくりについて広く市民が話し合う場がほしいという考える会会議（平成28年8月18日開催）での意見を基に、考える会のメンバーをはじめ、まちなか活性化に携わる関係団体の方々や高校生等延べ119名が参加し、活用アイデアや将来に残したい遠野駅舎の姿が話し合われました。

2 ワークショップでの意見

(1) メンバーが考える遠野の魅力

「歴史と物語を今に伝える、自然景観・建物・人とその営み」

(2) 将来に残したい駅舎の姿（コンセプト）

「まちの歴史と魅力が詰まった100年先に誇れる駅舎」

「日常的なにぎわいのある人が集まる場所」

「交通、情報、人、時間の接点として安心な機能」

(3) 駅舎機能へのニーズと具体的なアイデア



本物の歴史の魅力がある遠野駅舎に毎日「行きたい」「便利で安心」機能が加わることで、市民も観光客も世代を問わずに集いまちなか活性化の拠点となること、まちの歴史を伝える未来への地域資産となることが望まれています。